

UBICの人工知能搭載ロボット「Kibiro(キビロ)」、 キャノンマーケティングジャパンのショールームに コンシェルジュとして登場！

5月7日よりキャノンプラザS(品川)にて、来場者のお出迎えと商品説明を担当。
法人によるKibiroの初めての導入。

米ナスダックと東証マザーズに上場し、人工知能を駆使したビッグデータ解析事業を手がける株式会社UBIC(本社:東京都港区、代表取締役社長:守本正宏、東証マザーズ:2158、NASDAQ:UBIC)と、UBICの100%子会社で人工知能を活用したデジタルマーケティング事業を行うRappa(ラッパ)株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:斎藤匠)は、明日2016年5月7日より、キャノンマーケティングジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:坂田正弘)が運営するパーソナル向けショールーム「キャノンプラザS(品川)」に、人工知能搭載ロボット「Kibiro」(キビロ)が導入されることを発表しました。

キャノンマーケティングジャパンの「キャノンプラザS(品川)」は、カメラやプリンターなどキャノンの最新パーソナル製品を展示し、製品の使い方や楽しみ方を紹介する無料ワークショップやイベントを開催するショールームです。Kibiroはショールームのコンシェルジュとして、入口とビデオカメラ製品のコーナーにそれぞれ1台ずつ、計2台設置されます。入口では来場者をお迎えし、ショールームの説明とビデオカメラコーナーへの案内を行います。また、ビデオカメラコーナーでは、音声によるビデオカメラ製品のおすすめ機能紹介や、クイズなどの双方向のコミュニケーションを行います。来場者にキャノンプラザSをより一層楽しんで頂き、製品の特徴への理解を深めてもらうための役割を担います。

キャノンマーケティングジャパンデジタルハウス企画推進グループ 課長 北島由美子氏からは、「親しみやすく可愛らしいデザインと優れたコミュニケーション能力を持つKibiroをショールームに設置することで、ショールームへの集客効果と、来場者とのふれあいを通じて、楽しみながらキャノン製品への関心を高めてもらうことを狙いとしています。来場者にもっと様々な体験をして頂けるよう、今後、さらにKibiroを育てていきたいと考えています。」とのコメントを頂いています。

今後、Kibiroは、キャノンプラザSでの接客を通じて得た来場者の反応を活かしながら、タブレット端末との連携やUBICの人工知能エンジン「KIBIT」(キビット)を用いたキュレーション機能などを順次搭載していく予定です。UBICとRappaでは、法人への導入の拡大や、2016年後半の家庭への提供に向けて、更に開発を進めていきます。



ビデオカメラコーナーで製品説明をするKibiro



Kibiroが紹介するパーソナル向けデジタルビデオカメラiVIS HF R700（左）とiVIS HF R72（右）

【Kibiroの情報はこちら】

- ・ KibiroのWebサイト : <http://www.rappa.com/robot.html>
- ・ KibiroのFacebook : <https://www.facebook.com/kibiro.robot/>
- ・ Kibiroのブログ「Kibiro通信」 : <http://ameblo.jp/kibiro/>

【キヤノンプラザ S(品川)について】

URL: <http://cweb.canon.jp/showroom/personal/shinagawa/index.html>

- ・ 住所 : 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CANON S TOWER 2F
- ・ アクセス : JR 品川駅港南口より徒歩 8 分 / 京浜急行品川駅より徒歩約 10 分
- ・ 開館時間 : 月曜日～土曜日 10 : 00～17 : 30
(日・祝日・キヤノンマーケティングジャパン休業日は休館)
- ・ 電話番号 : 03-6719-9022



【UBIC について】 URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ（電子証拠開示）や、コンピュータフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年に創業。自社開発のデータ解析プラットフォーム「LitiView®（リット・アイ・ビュー）」、アジア言語に対応した「Predictive Coding®（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。訴訟対策支援で培った UBIC 独自の人工知能は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現、最近では医療やビジネスインテリジェンス、マーケティングなどの領域に人工知能を活用し、事業の拡大を進めています。2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 1,688,433 千円（2015 年 3 月 31 日現在）。

【Rappa 株式会社について】 URL: <http://www.rappa.com/>

Rappa 株式会社は、株式会社 UBIC が独自開発し提供する「人間の感覚や暗黙知を学ぶ人工知能技術」をデジタルマーケティング事業に応用することで、デジタルキュレーションサービスやコミュニティサイトの運営等の事業を展開する企業です。人工知能技術を使って人間の趣味や嗜好を学び取り、ウェブ上の膨大な情報の中から必要な情報を素早く入手することで、「一人ひとりが自分にとって価値ある情報に出会う」ことを実現し人間の豊かな創造力を支援することで、社会の発展に貢献することを目指します。2015 年 9 月 1 日株式会社 UBIC の 100%子会社として設立。資本金 1,000 万円（2015 年 9 月 30 日現在）。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社 UBIC 広報担当 池内・廣瀬

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345